

目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・創造的に音楽にかかわり、音楽活動への意欲を高め、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにする態度と習慣を育てる。 ・旋律に重点を置いた活動を通して、基礎的な表現の能力を伸ばし、音楽表現の楽しさを感じ取るようにする。 ・音楽の楽しさを味わって聴き、様々な音楽に親しむようにする。 	
学期	学習内容・到達目標	学習内容・到達目標
前 期	<p>階名になれよう ○春の小川 ○ドレミでうたおう ○茶つみ ○海風きって</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旋律を階名で歌うことに興味をもって、進んで視唱や視奏をしようとする。 ・音の高さを感じ取って、歌い方や身体表現を工夫できる。 ・正しい音程で旋律を階名視唱することができる。 <p>リコーダーにしよう ○小鳥のために ○小さな花 ○さよなら ○かり かり わたれ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リコーダーに関心をもって、進んで演奏したり演奏の仕方を工夫したりしようとする。 ・リコーダーの音色や響きを感じ取って、音の出し方を工夫できる。 ・タンギングや息の使い方を工夫して、きれいな音でリコーダーを演奏することができる。 ・リコーダーの音色の美しさを感じ取りながら聴くことができる。 	<p>曲の気分をかんじとろう ちびっこカウボーイ ○ハックルベリーフィン ゆかいな木きん</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歌詞の内容や曲想を感じ取って、歌い方や楽器の演奏の仕方を工夫できる。 ・曲想を生かして、表情豊かに歌ったり楽器を演奏したりすることができる。 ・曲想の変化を感じ取ったり、場面の様子を想像したりしながら聴くことができる。
後 期	<p>いろいろな音のちがいをかんじとろう ○うさぎ ○おかしなすきなまほうつかい ○茶つみ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音の特徴に関心をもって、進んで聴いたり表現したりしようとする。 ・音色や響きの違いを感じ取って、イメージに合った音の出し方や組み合わせ方を工夫しようとする。 ・楽器や身近な物を使って、イメージを生かした表現をすることができる。 <p>ふしのとくちょうをかんじとろう 馬にのって ○ふじ山 むたいこねこ ○エーデルワイス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旋律の特徴の違いを感じ取って、歌い方や楽器の演奏の仕方、身体表現を工夫しようとする。 ・旋律の特徴を生かして、歌ったり楽器を演奏したりすることができる。 ・弾む感じや滑らかな感じなどの旋律の特徴を感じ取りながら聴くことができる。 	<p>音を聞きあってあわせよう ○あの雲のように ○二人でおどりましょう ○パフ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・声や音の重なりに関心をもって、進んで聴いたり表現したりしようとする。 ・重なり合う音の美しさを感じ取って、歌い方や楽器の演奏の仕方を工夫できる。 ・互いの歌声や楽器の演奏を聴きながら、歌ったり楽器を演奏したりすることができる。 ・歌声と楽器の音が重なり合う響きの美しさを感じ取りながら聴くことができる。 <p>生き生きと歌おう ○きょうりゅうとチャチャチャ ○あの青い空のように ○卒業式の歌</p> <ul style="list-style-type: none"> ・きれいな歌声にあこがれをもって、進んで範唱を聴いたり歌い方を工夫したりしようとする。 ・歌詞の内容や旋律、リズムなどの楽曲の特徴を感じ取って、表現の仕方を工夫できる。 ・発声や呼吸の仕方に気を付けて、響きのある声で歌うことができる。 ・美しい発声や発音に気づいて、範唱や友達の演奏を聴くことができる。

音楽科の評価

・音楽科では四つの観点で評価します。

音楽への関心・意欲・態度	音楽的な感受や表現の工夫	表現の技能	鑑賞の能力
進んで音楽にかかわり、音楽活動への意欲を高めるとともに、生活を明るく潤いのあるものにしようとする。	曲想や音楽を特徴付けている要素を感じ取り、それらを生かした表現や鑑賞の仕方を工夫している。	音楽を聴いたり楽譜を見たりして演奏するとともに、呼吸および発音の仕方に気をつけて自然で無理のない声で歌ったり、音色に気をつけて楽器を演奏したり、音楽をつくったりする。	音楽を特徴付けている要素や、楽曲の仕組みに気をつけながら、曲想の変化を感じ取って聴く。

・次のような方法で見えていきます。

活動の観察 演奏場面の観察 演奏聴取 表情や態度の観察 鑑賞カード 練習の様子

おうちの方へ

3年生の音楽では、新たに八長調の視唱、視奏、リコーダーの演奏が始まります。リコーダーを中心とした楽器や歌の練習などをご家庭でも聴いていただければ、子ども達にとって大きな励みになり、学習の効果が大きく上がることが期待できます。